



1/27  
(水)

## 鷹巣小でものづくり体験教室 作る魅力を感じて

鷹巣小学校(田畠正英校長・193人)では、1月27日、県職業能力開発協会が「ものづくりマイスター」を講師として派遣するものづくり体験教室がありました。

6年生36人が参加したガラス細工工芸では、県硝子細工商工協同組合のマイスターの指導で万華鏡作りに挑戦。3枚の鏡の鏡面を内側に三角柱になるように組み立て、好みの色合いになるようにビーズの色を組み合わせました。児童らは万華鏡をのぞき込み、「きれい」と声を弾ませていました。

坂元飛翔君は「ビーズの色合いを工夫して、きれい

な模様ができてよかった」と充実した様子でした。

このほか、ITマスターが講師となったプログラミング体験教室では、5年生37人がゲームを通じてプログラミングの仕組みを学びました。



完成した万華鏡をのぞき込む児童たち

1/27  
(水)

## 全国小学生作文コンクール 持ち主に届くといいな



受賞に喜ぶ濱島君(写真左)

読売新聞社主催の第29回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」で、鷹巣小学校2年の濱島大海君が優秀賞に輝きました。

受賞作品『だれのかな』は、自身が下校途中に拾った5円玉を届けに、初めて駐在所を訪れた時の様子と心の中を描写。心臓をドキドキさせながら優しい笑顔の警察官からの問い掛けに応えました。もらった拾得物預かり証は、アルバムに貼られ、濱島君の大切な宝物になっています。

濱島君は「受賞できてうれしい。困っている人がいたら助けたい」と笑顔を見せました。

1/28  
(木)

## 長島研醸が日赤から感謝状 感謝込めて寄付

長島研醸有限公司(長山正盛社長)が、日本赤十字社本社から社長感謝状を贈られました。

これは同社が長年にわたり日本赤十字社に寄付を続け、赤十字事業に貢献してきたことによるものです。1月28日、町開発総合センターで行われた授与式で、岩切豊副町長が長山社長に感謝状と記念品を授与しました。

長山社長は「災害や新型コロナなど医療従事者のかたにとっては大変な状況が続いている。少しでも役立てていただきたい」と話しました。

同社は社会に対する感謝の気持ちを還元することを目的に、平成10年から毎年日本赤十字社へ寄付を行っています。



感謝状を受けた長山社長(写真中央右)